

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】米原市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
13	2006.5.31			滋賀県	米原市	41,009	223.10
構想の要約		バイオマスの活用により持続的に発展可能な循環型社会の形成と、市民の主体的な取り組みを通して人と自然が共生するまちづくりをすすめることを基本に、生ごみ、農集排汚泥、家畜排泄物、剪定枝等のコンポスト化、廃食用油のBDF化、木質バイオマスガス化発電によるバイオマス利活用システムの構築を図る。					
構想に盛り込まれた事業		①コンポスト化 ②BDF化 ③木質バイオマス炭化およびガス化発電施設とバイナリー発電施設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他(外来魚)	○		
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	現 在			今 後		
	賦存量(t)	利活用方法	利用率	仕向量(t)	変換・利用方法	利用率
(廃棄物系バイオマス)			90.1%			94.7%
生ごみ	2,613	自家利用	1%	2,350	堆肥化	90%
廃食油	152	販売	74%	152	燃料化	100%
家畜糞尿	5,905	農地還元・販売	99%	5,859	堆肥化	99%
製材屑	9,353	販売・自家発電	74%	8,792	堆肥化	94%
農集排汚泥	993	農地還元	3%	993	堆肥化	100%
(未利用バイオマス)			0.3%			17.3%
林地残材	1,014	販売	6%	150	電力化・熱源化	15%
稲わら	10,003	農地還元	0%	10,003	農地還元	0%
初殻	2,376	農地還元	0%	2,376	電力化・熱源化 堆肥化	100%
麦わら	896	農地還元	0%	896	農地還元	0%
大豆がら	96	農地還元	0%	86	農地還元	0%
外来魚	5	販売	100%	5	飼料化	100%
(資源作物)						0%
いも類	131	廃棄焼却	0%	105	農地還元	0%
とうもろこし	2	廃棄焼却	0%	1.6	農地還元	0%
なたね	4	廃棄焼却	0%	3.2	燃料化	80%
大豆	192	廃棄焼却	0%	154	農地還元	0%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)